



東日本大震災

～災害派遣医療活動～

記 薬剤科 薬剤師 豊田 栄司

3月11日の東日本大震災発生より2週間後の3月末、国立病院機構本部より医療派遣の出動要請があり、医師1名、看護師2名、事務1名、薬剤師1名の災害派遣医療チームを編成し、4月9日より宮城県に支援活動に行っていました。

今回は、宮城県東松島市内の避難所を訪問し、診察をしてきました。活動内容は次のスケジュール表で報告させていただきます。

4月9日(土)

- 6:30 新岩国駅に集合して出発。
- 11:30 東京 品川駅到着。
- 12:15 東京医療センター到着。災害緊急車両を借り、仙台市へ出発。
- 17:00 仙台医療センター到着。
- 仙台医療センター本部にてミーティング。
- 18:00 前医療班(浜田医療センター医療班)より引継ぎを受ける。



【災害派遣医療チームのメンバー】
左から 田中屋(外科医師)、
石野(事務)、藤井(看護師)、
平田(看護師)、豊田(薬剤師)

4月10日(日)

- 6:50 仙台市内宿泊先より東松島市へ出発。
- 8:35 現地対策本部(東松島市矢本保健相談センター)到着。
- 避難所での診療のポイント等の説明を受ける。
- 9:20 活動場所へ出発。
- 9:30 上下堤(じょうげつつみ)農村創作活動センターに到着。13人の診療を実施。
- 13:30 大塚地区センターに到着。25人の診療を実施。
- 17:10 現地対策本部(東松島市)にてミーティング。
- 19:50 仙台医療センター NHO 現地対策本部にて活動報告。

4月11日(月)

- 8:45 現地対策本部(東松島市)にてミーティング。
- 9:45 中下地区センターに到着。24人の診療を実施。
- 14:00 西福田生活下センターに到着。現地で聞き取り調査。
- 16:40 現地対策本部(東松島市)にてミーティング。
- 19:40 仙台医療センター NHO 現地対策本部にて活動報告。

4月12日(火)

- 9:00 品井沼(しなぬま)農村環境改善センターに到着。24人の診療を実施。
- 11:30 松島町 町民の森 野外活動センターに到着。14人の診療を実施。
- 13:40 川下地区センターに到着。11人の診療を実施。
- 16:00 現地対策本部(東松島市)にてミーティング。
- 18:40 仙台医療センター NHO 現地対策本部にて活動報告。次の医療班(福山医療センター)への引継ぎを行う。岩国医療センターに向けて出発。

4月13日(水)

11:45	東京医療センター到着。災害緊急車両を返却。
12:40	東京駅に到着。
17:40	新岩国駅に到着。
18:00	岩国医療センターに到着。活動報告後、解散。



【対策本部：東松島市矢本保健相談センター】

【診療活動】



【被災地(東松島市内)】

災害派遣を通し、大変貴重な経験をさせていただきました。今回、自分の目で、津波により何もかもが押し流され、瓦礫^{がれき}が散乱した被災地を見て絶句しました。生活環境は各避難所によって差があり、家族ごとに部屋があるところもあれば、わずかなスペースに何十人もの人がプライバシーもなく生活されているところもありました。

現地での診察を通して、上気道炎やアレルギーを訴えられる患者さんや、いまだ続く余震や、今後の見通しがいいことなどから不安で眠れない患者さんが多かったです。

また、自分たちが被災により大きな傷を背負っているにも関わらず、私たちが診療に訪れると快く出迎えてくれたうえに、診療後には「ありがとう」と言ってくださり、帰るときには私たちが見えなくなるまで見送ってくださったことは、今でも忘れられません。

今回の派遣は自分にとって貴重な経験となりましたが、この経験を自分だけでなく、多くの人と共有したいと思っています。また今後、私は災害派遣の講習会、勉強会に参加し、災害医療等への理解を深めていこうと思っています。

最後になりましたが、この度の震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された皆様とそこそご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。1日も早い復興を、心よりお祈り申し上げます。

